

有家神社

洋野町有家地区、国道45号線沿いにある有家簡易郵便局から山に向かって進むと、鳥居と巨木が見えてきます。

鳥居をくぐり、階段を上ると鳥居と同じ赤い色の拝殿が。

ここは、有家(うげ)神社。

こじんまりとした田舎の小さな神社としか見えませんが、この神社は『新古今和歌集』の選者である『藤原有家』(ふじわらのありいえ)をまつる神社なんですよ！

なんで、洋野町の神社で藤原有家をまつっているのでしょうか？

<赤石大明神の云われ>

有家は時の天皇の信頼も厚く和歌にもすぐれた公家でした。

有家の兄弟も立派で、評判も高くそれぞれ隆盛をきわめていましたが、それを妬んだ公家に陥れられ、兄弟ともども天皇から蝦夷地(えぞち)への流罪を申しつけられました。

妻子と別れた有家兄弟と家来たちは海路を 49 日も波浪にもまれ、三陸の地に上陸し、その浜は「侍浜」と名付けられた。

有家は現在の有家神社附近に御涼源庵という庵を結び、つらい生活をしていましたが、この地の人々からたいへん崇拜されていた。

その後、有家たちが無実であることがわかり、天皇は有家たちを許しましたが、その時有家は既に亡くなっていました。

それを悲しんだ人々は、この地に有家を御神体として祠を建て崇拜してきました。

いつの頃からか有家は有家(うげ)と呼ばれるようになり、祠は有家神社となったそうです。

